

ビジネスアイデアの概要

回路エンジニアが基板を試作する際、スルーホール形成には有害薬品・大規模設備・廃液処理が必要なため卓上製造が不可能であり、海外工場への外注で1週間以上のリードタイムが発生している。

この課題を解決するために、ハードウェア開発者およびSTEM教育市場を対象として、複数の技術を統合した工作機械の事業化を目指す。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

- ・法規制適合に向けた安全性試験の実施
- ・素材の長期保存技術確立など実機向け技術開発
- ・中小企業R&D・教育機関への更なるヒアリングと試験導入による要件定義
- ・継続収益モデルの検証と知財戦略の構築

事業化の見通し

0.8mmピッチICの実装および工場品質と同等の品質を達成した実用レベルの試作品が完成
現在は安全性・環境適合性など、実際の市場投入に向けて完成度をさらに高めた実験開発を進めている段階。

ロボット競技関係者をはじめとする初期ターゲット層へのヒアリングを複数名に対して実施し、現行プロセスへの課題感と価格受容性を確認済み。技育展などの展示会でも良好なFBを獲得。

本体：数万円台を想定

消耗品：数千円を想定

ハードウェアと消耗品を組み合わせた継続課金モデルを採用予定。

事業者情報

チーム名/プロジェクト名 Alnilam

根津颯人（実験・品質評価）

島田早織（市場調査・法規制対応）



ビジネスアイデア概要図等

